



日本共産党那覇市議団 城間幹子市長へ緊急申し入れ

那覇市長 城間幹子 殿

※下記は申し入れ全文です

2020年11月25日 日本共産党那覇市議員団

団長 古堅 茂治

湧川 朝渉 我如古 一郎 前田 千尋

宮里 昇 上原 安夫 西中間 久枝

感染拡大の「第3波」到来を直視し、新型コロナ危機から、命とくらしを守り、経済を立て直すための対策の拡充・強化を求める緊急申し入れ

コロナ禍による深刻な影響が市民生活と経済活動のあらゆる分野に及ぶもとで、「命を守る」「経済をつなぐ」「日常をつくる」の基本方針のもとコロナ対策の推進をはじめ、市民サービスの向上や福祉の増進にむけて市政運営にあたられていることに敬意を表します。また、厳しい状況のもと社会的役割を果たすために最前線でご奮闘いただいている医療・介護・保育・教育などの関係者の皆様、保健所・市立病院・市職員の皆様に心より敬意を表します。

今月、全国で新型コロナウイルスの感染者が急増し過去最大の新規陽性者数を更新するなど、春の「第1波」、7～8月の「第2波」に続く、「第3波」の感染拡大が起こっています。

本市、本県でも、米軍由来、GOTOトラベルによると思われる、クラスター、家庭内感染、中・高齢者や幅広い年代層への感染、無症状者、感染経路の不明が広がるなど、感染状況も多様化する中、「先行き」の見えない不安が高まり、年末にかけて「倒産・廃業が急増する」恐れがあります。

中小企業の廃業・倒産と、リストラ・解雇、雇い止めなどの雇用危機が進行すれば、大不況の悪循環に陥ります。コロナ危機から経済恐慌に深化させてしまうのかどうかの瀬戸際に立っています。中小業者からは「あらゆる支援策を活用したが、もう手元にお金がない」「このままでは廃業しかない」「年末資金が枯渇して一時金の支給は困難」、労働者からは「コロナで仕事が減り、収入が大きく減った」「冬の一時金は出ない」「解雇されてしまった」など深刻で切実な声が寄せられています。すでに全国でコロナ危機により7万人が失職したと報道されていますが、年末に向け、中小企業・小規模企業の経営は益々厳しくなり、解雇、雇止めがさらに増加することが懸念されます。さらに、コロナ危機は、とくに本市・本県で比率が高い非正規労働者の方々や低所得の人たちにきびしい暮らしを強いています。"コロナでホームレスに"などという事態は絶対にあってはなりません。

いま、感染の爆発的拡大を抑止する緊急対策の抜本的強化と、年末に向けてくらしを守り、雇用と事業を維持し、持続できるよう総力を挙げて、最大限の緊急支援策に取り組むことは政治の最優先の課題となっています。本市にも新たな知恵と力の発揮が求められています。

よって、日本共産党那覇市議団は、新型コロナ危機から、命とくらしを守り、経済を立て直すための対策の拡充・強化を国・県とも連携して緊急に講じるよう申し入れます。

(申し入れ項目は2. 3. 4ページ)

日本共産党那覇市議団ニュース 22号 2020年11月28日

監査・都市建設環境委員
団長 古堅 茂治

教育福祉委員
幹事長 湧川 朝渉

総務委員
政策調査
委員長 我如古 一郎

厚生経済委員長
政策調査
副委員長 前田 千尋

みなさんの
ご意見、ご要望を
お気軽にお寄せ下さい

総務副委員長
政策調査
副委員長 宮里 昇

厚生経済委員
会計長 上原 安夫

教育福祉委員
副会計長 西中間 久枝

発行：日本共産党那覇市議団 那覇市泉崎1-1-1市役所4階 電話：862-8268 FAX 867-3170

コロナ問題など、お困りごとは、お気軽にご相談ください。 メール：jcp-naha@nirai.ne.jp